



0 申し込みについて

定員 30名 ※事前申し込みが必要です

対象 イベントの参加とバケツ稲にチャレンジできる小・中学生

参加費 500円(税込) ※6月14日支払い

申し込み方法

堺市立みはら歴史博物館に電話、FAX、電子メール、直接窓口のいずれかで、参加者氏名・保護者氏名・学校名・学年・郵便番号・住所・電話番号をご連絡ください。

◆募集期間◆

令和8年6月2日(火)から6月13日(土)まで定員になり次第受付を終了いたします。

※ご家庭で古代米のバケツ稲にチャレンジするためのイベントです。

※苗と育て方のしおりのみ配付します。バケツや土の配付はございません。

※申し込み時にいただきました個人情報は本事業以外には使用いたしません。

問い合わせ・申し込み先

堺市立みはら歴史博物館(M・Cみはら)
指定管理者アクティオ株式会社
〒587-0002 大阪府堺市美原区黒山281
TEL.072-362-2736
FAX.072-362-2260
電子メール m-rekisho@mc-mihara.jp
URL <https://www.mc-mihara.jp/>
開館時間:9時30分から17時15分
休館日:月曜日(祝休日の場合は火曜日)、
祝日の翌日(土日休日の場合は開館)
年末年始



1 ★学ぶ ワークショップ

6月14日(日)
10時から12時
※10時集合時間厳守

開催予定 8/8 かし案山子づくり
12/5 しめ縄づくり

会場 堺市立みはら歴史博物館



※詳しくは裏面をご覧ください



2 ★知る ワークシートに挑戦

7月18日(土)~8月30日(日)
9時から17時(最終入館時間は16時30分)
※7/21・27、8/3・10・17・24は休館日
※期間のうちの開館日に1日ご参加ください。

会場 大阪府立弥生文化博物館



3 ★育てる

6月下旬~10月下旬

夏休みの自由研究に
オススメです!

ご自宅で



古代米とは?

古代に作られていた稲の特徴を残している米のことを言います。玄米の皮の層に色素が含まれており、「有色米」とも言われます。美原の古代米として栽培している「さよむらさき」には、アントシアニンという抗酸化作用のある栄養素が含まれると言われており、健康食として注目を集めています。

イラスト: mizuho

すくすくと
育てる
稲作文化
学ぼう!

2026



【共催】堺市立みはら歴史博物館(M・Cみはら)
大阪府立弥生文化博物館
【協力】美原の古代米プロダクツ
美原区役所



すくすく **1** 堺市立みはら歴史博物館で米作りを学ぶ!

6/14 日

10時から12時
(9時45分開場)
※10時集合時間厳守



開催予定 → 8/8 かかし 案山子づくり、12/5 しめ縄づくり

会場 堺市立みはら歴史博物館 (M・Cみはら) M・Cホール

住所 堺市美原区黒山281番地
TEL 072-362-2736 FAX 072-362-2260

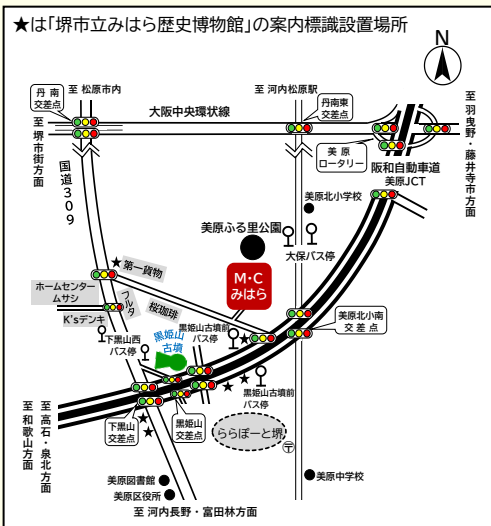
持ち物 筆記用具・参加費500円

たのしく学ぶ①:「むかし、米作りが始まった!」
たのしく学ぶ②:「いま、古代米を育てる!」
※古代米の苗・しおりを配ります

【交通案内】



M・Cみはら



バス

- 南海高野線「北野田駅」から南海又は近鉄バス 多治井・大保方面行「黒姫山古墳前」下車すぐ
- 近鉄南大阪線「河内松原駅」から近鉄バス 余部行「大保」下車すぐ (美原ふる里公園に入る)

駐車場 40台 (無料)

すくすく **2** 大阪府立弥生文化博物館でワークシートに挑戦!

7/18 土
~8/30 日

開館時間 9時30分~17時
(最終入館時間は16時30分)

※7/21・27、8/3・10・17・24は休館日
※期間のうちの開館日に1日ご参加ください。

会場 大阪府立弥生文化博物館
展示室 (ワークシートに挑戦)

住所 和泉市池上町4丁目8番27号
TEL 0725-46-2162 FAX 0725-46-2165

持ち物 しおり (6月14日配付)・筆記用具

日本で稲作が始まった時代を大阪府立弥生文化博物館で学び、木庖丁製作キットをゲットしよう!

【交通案内】



大阪府立
弥生文化
博物館

電車 JR阪和線「信太山」駅下車 西へ約600m
南海本線「松ノ浜」駅下車 東へ約1,500m
[大阪方面からお越しの場合]
JR天王寺駅から和歌山方面行(阪和線)快速電車にご乗車になり、鳳(おおとり)駅で普通電車にお乗り換え下さい。一部に、鳳駅まで快速、その後各駅にとまる「区間快速」もあります。
(くわしくは時刻表をご確認ください)
鳳駅から3駅目が信太山(しのだやま)駅です。

車 国道26号「池上町」交差点南西角
駐車場 博物館駐車場 72台 (無料)



すくすく **3** おうちで育てて収穫! おいしくいただきます!

6月下旬 植える
↓ 育てる
10月中旬 収穫

【収穫するまでの道のり】



★6月下旬

①15リットルバケツに黒土等をバケツの2/3まで入れ、水を土から水深6cmまで注ぐ。土が沈み落ち着いたら、苗を植える。

★6月下旬~10月中旬(収穫まで)

②日当たりのよい場所に置き、水は土から水深6cmくらいをキープする。

★8月上旬 ③肥料を追加する。

★10月中旬 ④穂首を刈り取る。

⑤日当たりのよい所もしくは風通しのよい所で2週間ほど干す。

★10月下旬

⑥フォークで脱穀(だっく)し、すり鉢でモミすりをして、お米だけを取り出す。



⑦白米に⑥のお米を混ぜて炊くとピンク色のご飯になります。

【古代米バケツ稲のご相談窓口】

堺市立みはら歴史博物館(M・Cみはら)
TEL.072-362-2736 FAX.072-362-2260
電子メール m-rekishi@mc-mihara.jp
開館時間:9時30分から17時15分
休館日:月曜日(祝休日の場合は火曜日)、
祝日の翌日(土日休日の場合は開館)